

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1471500304
法人名	社会福祉法人 誠幸会
事業所名	グループホーム 泉の郷仙石原
訪問調査日	2018年8月20日
評価確定日	2018年9月28日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 30 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471500304	事業の開始年月日	平成15年11月1日	
		指定年月日	平成27年11月1日	
法人名	社会福祉法人 誠幸会			
事業所名	グループホーム 泉の郷仙石原			
所在地	(〒250-0631) 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285-361			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成30年7月1日	評価結果 市町村受理日	平成30年11月2日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「かかわる全ての人々が喜び地域社会の中で価値ある総合福祉法人を目指す」
心を込めたサービスを提供し、関わる全ての人への安全と安心、そして新しい毎日を追求します。
昨年の平均介護度4.5から現在の3.5となり、介護度1から5までの入居者様が生活を送っています。全員同じではなく個々に必要とされるサービスを見極め、職員間で情報共有し最善を尽くすよう日々努力をしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成30年8月20日	評価機関 評価決定日	平成30年9月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

- この事業所は社会福祉法人誠幸会の経営です。同法人は横浜市泉区に本部を持ち、横浜市を中心に「高齢者介護・障がい者支援・保育」の3本柱を軸に様々な福祉サービスを提供しています。高齢者介護として「介護施設部門」には特養・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者住宅があり、「在宅部門」ではデイサービス・訪問介護などがあります。ここ「グループホーム泉の郷仙石原」を含め、神奈川県内に5ヶ所のグループホームがあります。事業所はJRまたは小田急線「小田原駅」からバスに乗り「小塚入口」で下車して徒歩5分程の場所にあり、隣には「箱根リハビリテーション病院」や「介護老人保健施設」もあります。周辺は、緑豊かな箱根の山々に囲まれ、紅葉など四季折々の自然を楽しむことが出来ます。また、お風呂は、箱根ならではの温泉を引き入れて一年中、何時でも温泉に浸かることも出来ます。
- 法人の理念「かかわる全ての人々が喜び地域社会の中で、価値ある総合福祉法人を目指す」の基に、毎年、法人の理事長が社訓を決め、「凡事徹底」（なんでもない当たり前の事を徹底してやる事により、大きな成果が得られる）を今年度の社訓に掲げています。事業所としては、「①入居者様主体及び自立支援②職員力向上③地域貢献」の3つを今年度の目標に掲げ、入居者一人ひとりに必要とされるサービスを見極めて、対応が出来るように努力しています。地域貢献として、今年9月より認知症ディサービスも開始される予定です。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 泉の郷仙石原
ユニット名	グループホーム 泉の郷仙石原

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年度の事業計画を 1. 入居者様主体及び自立支援 2. 職員力向上 3. 地域貢献 の三本柱を事業所の目標に掲げさせていただき、研修にも織り込みながら実践できるよう努力しています。	法人の理念は「かかわる全ての人々が喜び地域社会の中で、価値ある総合福祉法人を目指す」です。法人の理念、運営方針、行動規範をフロアと事務所に掲示し、ケアの指針にしています。事業所では、今年度の目標として、3つの項目掲げ、毎月行われる職員会議や、内部研修にも入れ職員全員で共有しながら目標の実践に取り組んでいます。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の人口が少ないからこそ日々の挨拶を重んじています。地域での集いや行事には欠かさず参加をさせていただき、幸いにも地域の方々には事業所として理解をいただけています。	地区の自治会に加入し、常会や総会にも出席しています。地域の清掃活動、周辺道路の枝打ち、箱根地区の運動会、災害訓練などに欠かさず参加し、地域との交流を深めています。運動会では、とん汁を作って地区の皆さんに振る舞っています。今後は地区のボランティアの受け入れを進めていく予定です。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献は大きな課題と考えております。今年度より箱根町主催の家族介護教室が年間4回を予定しています。当事業所からも場所の提供や、グループホームの役割等の発信を行います。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ご家族様より厳しい意見も出ています。意見や要望等には必ず事業所としての考えを伝えさせていただき、共により良いサービスに繋げるよう努力をしています。	運営推進会議を偶数月の平日に年6回開催しています。運営推進会議は、箱根町役場担当者、社会福祉協議会、民生委員、自治会役員、家族、成年後見人などの参加で行われています。事業所からは、近況と活動報告の他、身体拘束などについても議題に取り上げ、参加者から色々な意見を頂き、職員会議や申し送りで検討し対応しています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	「事業所の力を活かした地域貢献」とどぶつてしましますが、箱根町との連携にも取り組んでいます。箱根町との連携の一つに、当事業所が箱根町災害時福祉避難所としての協定も結んでおります。	今年度より箱根町の主催で、地域住民を対象にした、家族介護教室を年4回開催することになり、事業所の場所を提供したり、情報交換等で連携を取っています。また、生活保護受給者の受け入れも行っている関係で、箱根町担当者とも連絡を密に取っています。箱根町の介護保険連絡会は年4回の開催があり、行政からの情報収集や、他法人との交流も深めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては運営推進会議や職員研修にも盛り込ませていただいています。ご家族様からも意見が聞ける機会が増え「怪我をするならベッドから落ちないように柵をしてほしい」などの意見も聞かれ、事業所としての考えも伝え、話し合いを行っています。	身体拘束委員会があり身体拘束防止のマニュアルも用意しています。委員会は、運営推進会議メンバーにて構成され、運営推進会議時に身体拘束について話し合い、議事録を取っています。職員への研修は、年に2回内部研修を実施し、理解を深めています。言葉による拘束などについては、その都度、管理者が注意をする等の対応をしています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についても必須の研修として行っています。介助者が気付かないうちに発する言葉による虐待（グレーゾーン）を耳にすることがあります。研修や注意喚起では本人に気づいてもらえるよう話をしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援では、断られるケースもありましたが、成年後見制度はご家族不明の利用者様には積極的に利用させていただいています。利用者様も成年後見人制度で安心をされ、制度を利用させていただくことで制度の理解にも繋がると 생각합니다。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては先を見越した説明も交え十分な説明を心掛けています。また利用者様やご家族様の不安等も引き出す努力をし、納得・理解していただくよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様や利用者様には日ごろから意見や不満等を引き出さなければ、いずれ大きな苦情となると考えています。意見要望等は面会時のアンケートや話の中、また運営推進会議案内状では欠席者にも意見要望を記入していただき、会議で皆様の意見を聞き運営に役立てています。	家族の面会時には、利用者の近況報告を行い家族からの要望や、相談など話の内容を面会記録として書面に残しています。また、運営推進会議の案内状には、意見要望を記入する欄を設けて欠席者からも聴いています。毎月個人の状況報告を請求書に同封して郵送しています。家族からの意見、要望は、運営推進会議などで検討して運営に反映させています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に留まらず、職員の意見等が上司に伝わるよう制度は出来ているかと思えます。特に事業所内では聴く耳を持つよう努力をし、新しい古い関係なく意見を反映できる場を作り出すようにしています。	年に1回は自己申告書提出の制度があり、面談したい相手は法人本部を含めて選択出来るようになっていました。職員会議は、毎月行われ職員からの意見や、提案は検討して業務改善に繋げています。法人の上層部も参加して開催される親睦会や忘年会は、毎年行われ意見交換の場にもなっています。親睦会は、数回に分けて開催され、都合の良い日を選んで全員が参加できるように配慮しています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給料水準では箱根町での勤務ですが、法人本部と同じ金額となり、箱根町では高水準ではないかと思えます。またフルタイム職員は全員職員となり賞与の支給もあります。また職場環境についても考慮していただいていると思っています。しかしながら職員不足もあり、残業の発生が課題となっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部内部研修・外部研修・自事業所内部研修と研修の場は多く提供されています。上司からは外部研修は特に研修内容も当然大事ですが、研修に参加することで多くの人との繋がりを持つよう研修参加を進められています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年4回の介護保険連絡会には必ず参加をさせていただき、各事業の方々との情報交換や交流を深めさせていただいています。また運営推進会議では委員として社会福祉協議会も毎回参加をいただき、質の向上に貢献していただいています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴に重点を置き、まずは不安要素を払拭することに努めています。その上に要望等を引き出し、その方に適した支援を行うことを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との関係は、良い話だけでは信頼関係を築けなく、現実や先の話も織り込みながら親身に対応することを心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族やご本人がなぜ施設入居を望まれたのかを把握し、ご本人に適したサービスの提案も含め対応させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同作業等を通し、仲間でもあることに気が付いていただき、たまには肩を揉み合える関係を築き上げるよう努力しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と入居者様が安心して食事等の外出が行えるよう考え、ご家族には協力をお願いしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々へは面会を促させていただいています。ご夫婦で違う施設入居されている方には、職員付き添いで施設訪問も行っています。	利用者の様子を見て、家族の協力が欲しい場合は、電話連絡して面会に来ていただく場合もあります。また、消耗品購入などの預かり金は、ほぼ2ヶ月毎に家族に持参して頂いています。以前住んでいた家を見に行く事や、携帯電話や事業所の電話で遣り取りしたり、手紙の遣り取りができるように支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一度関係がこじれると、なかなか元に戻らないこともあり、利用者様同士のコミュニケーションがうまく取れるよう職員も橋渡しを工夫して行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームを何らかの事情で退居されても、当施設に住所を置かれている方もいらっしゃいます。その後のフォローが後々私どもに帰ってくることも多々あり、今後も相談や支援に努めてまいります。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族の思いや意向が優先されがちですが、ご本人様の意思決定支援のもとに、その方の信条、生活歴・価値観等を考慮しながら読み取り、本人本位に検討できるよう家族とも話をさせていただいています。	入居時に、本人や家族などからの情報を基本情報シートに記入しています。その後の思いや意向の把握のために、今年度厚労省から通達の「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」を内部研修に取り入れ、本人本位に検討し、個々に必要とされるサービスを見極めたケアに努めています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者や家族から趣味や得意とすること等情報を得ながら、居心地のいい環境づくりやいつまでも馴染みの暮らしが出来るように持ち物等で居住環境を整えるように配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活がその人にとって充実し、満足のできる一日になる様にやりたい事や出来ることへの拡大を図りながら、ともに楽しむ生活づくりができるようにケアプランにも繁栄しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのチェック表やケアカンファレンス等で状況の変化に応じた個別性に配慮した目標提示がされているか話し合いをしながら再確認をしております。	介護計画の各サービスは、項目毎に実施状況を毎日確認して、毎月のケアカンファレンスでは全員分を見直ししています。短期目標は6ヶ月、長期目標は1年に期間設定され、介護計画の更新は、1年毎に行っています。介護報酬の改定など法改正が発生した場合は、法人本部の内部監査があり、介護計画も確認しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に気づきの報告書をあげ、それに基づきケアカンファレンスしながら状況の変化に対応、見直しをしているとともにケアプランチェック表でも介護計画の見直しに役立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	大きな状況の変化や問題が生じた時は、会議を開催して家族の意向や状況等を話し合い、常に個別性に配慮できるように細やかに取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で豊かな暮らしが出来るように個人の持っている生活技術を活用するとともに心身の力を発揮できるように、すこしでも可能性を引き出す生活づくりの支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係は常日頃頭においています。今年は初めてお看取りもさせていただきDrとの協働もはかれました。受診診断についても、かかりつけ医より紹介状をいただき適切な医療を受けられるよう関係の構築に努めています。	以前からのかかりつけ医と、協力医を受診している方もいます。歯科は訪問診療があり職員へ口腔衛生管理の指導もされています。契約の看護師が、週1回利用者の健康管理や、爪切り、簡単な処置などと職員の医療相談に対応しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師との報・連・相もやはり記録を残し、職員間で共有できるようにしています。また、看護師からの目線と介護職員の目線の違いなど、お互いに知識を深めあうことができているかと思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関とは営業も兼ね関係づくりに努めています。医療連携室等との情報交換も常日頃より心掛け、入退院時もスムーズに行えるよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設では看取りを行っていないため、入居前からご本人やご家族様には重度化や終末期に関しては、十分な説明を行っています。また、入居者様が今ここで生活を送ることが相応しいか、ご家族様には伝えています。	入居前に、重度化や終末期に向けた方針について説明を行なっています。基本的に当事業所では看取りは行っていません。重度化や終末期が予測される場合は、家族との話し合いの場を設けて、特別養護老人ホームや、病院など他施設への異動も含めた説明をするなどの支援をしています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生等では、実技研修を取り入れています。また常日頃より訪問看護との情報交換やアドバイスも実践力の向上に役立っているかと思います。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協働体制を築いている	今年度より法人内にも災害対策委員会が設置され、災害時の対応や準備等も文書化されています。箱根町特有の火山災害などでは町や自治会との話し合いも持たれています。	事業所の防災訓練は、年2回実施して1回は防災設備機器の業者が来て機器の点検を合わせて行っています。また、年1回地区の防災訓練にも参加して、事業所は箱根町災害時福祉避難所に指定されています。法人内に災害対策委員会が設置され、防災マニュアルも新たに作成されました。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報についても年1回研修に取り入れてい ます。声掛けについては知らず知らずのうちに不適切 と思われることもあり、今後の課題の一つと考えて おります。声掛け一つでも入居者様との信頼関係が できていなければ成り立たないと考えます。	接遇やマナーについての研修は毎年、法人本部の研 修に組み込まれており全員が受講しています。個人 情報の取り扱いについても、年に1回は内部研修に組 み込まれており、全員が受講しています。声掛けに ついては、自己点検を行い不適切と思われるような 場合はお互いに注意しています。個人情報の入った 書類関係は、事務所内に置く場所を決めて管理して います。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	平成30年6月の厚労省からの通達「認知症の人の 意思決定支援ガイドライン」に沿った支援を目指し ます。現状ではまだまだキーパーソン優先と感じる ことも多々ありますが、普段の生活の中では入居者 様に意思決定できるよう導いています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援している	職員不足から職員のペースの生活になりがちになり 反省すべき点もあるかと思ひます。その中でも職員 は入居者様の希望に添えるよう常に努力は行ってい るかと思ひます。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	季節に応じたご自身の希望に合った服装を選んで頂 き、身だしなみや清潔にも気をつけております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や 食事、片付けをしている	一昨年より、一番大きな変化を遂げているかと思ひ ます。食事準備や食事・片付けに至るまで職員と入 居者様で楽しんで行っています。食事時は入居者様 が入居者様の口元を拭くなど助け合いも行っていま す。	食事のメニューは、職員が交代で利用者の好みなど も聴きながら、2週間分作成しています。食材は、ほ とんどが生協の配達分を使用しています。利用者 と共に、野菜の下拵え、調理、味付け、盛合わせ、配 膳、下膳など職員と一緒に楽しみながら行っていま す。食器洗いも3名の方を当番制にして手伝って貰っ ています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養についてはアセスメントを行い、その方に適した食事提供をと努力しています。水分補給については確保できるよう、様々な工夫が話し合われます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔衛生管理加算もはじまり、協力歯科医から職員への指導も文書化され一層解りやすくなったかと思えます。また食後の口腔ケアも当然ながら、起床時の口腔ケアの大切さも皆理解していただいていると思えます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつがその方に必要なか必要でないのか、職員間でも日頃より話を持ちます。入居者様の希望も聞き入れ対応していますが、トイレでの排泄を維持できるよう常に支援しています。	オムツを使用される方が、4名いますが昼間は1名だけにして、他の方は全員トイレでの排泄を促しています。生活リズム表に1時間ごとの排泄状況を記入し、一人ひとりの排泄パターンを把握して支援することで、失禁を減らせるように努めています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬品ばかりに頼らず、食品ではその方々に合ったオリゴ糖や牛乳、ヨーグルト・オリーブオイルなどを取っていただくようにしています。また訪看の協力も大きいと思えます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には入浴予定を組ませていただいています。中でも午前や午後といった希望を取り入れたり、入浴を嫌がる方を無理に入浴していただいても良い事はないので、いかに気持ちよく入浴を受け入れていただけるか工夫をしています。	1日3名ずつの入浴とし、好きな時間に入られるように支援しています。昨年から導入されたリフトは、車椅子利用の方が安全に入浴出来るように使用しています。温泉を使用出来ない利用者は、給湯器での対応もしています。地域の方から頂いた菖蒲で菖蒲湯や柚子湯を行い、季節感を感じていただけるように工夫しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	以前は皆さんでレクをとの考えが強かったかと思いますが、現在は個々のペースを尊重しつつ生活を送れるようお手伝いをさせていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬の怖さや防止からも、どのような薬を服薬し効果があるのか理解されているかと思います。糖尿病や血圧等の副作用にも注意を払っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今年は危険と思われる雪かきも行いました。入居者様からの強い要望で家族とも相談の上マンツーマンで行い、職員は最大限の注意を払って行いました。ご家族の要望もさまざま、リスクがあっても希望を叶えさせてや安全主義の方もいらっしゃいます。楽しみごと等はボランティアの協力を得ています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な外出は少しの時間でも外に出ることを大事にしています。また入居者様の希望にも添えるよう努め、ご家族の御協力のお願も行なっています。	日常の散歩は、たとえ短い時間であっても外に出て、外気や日光に当たれるように心がけています。今年の夏は、箱根でも気温が上がり熱中症を防ぐために例年と比べ外に出る回数が減っています。テラスでは、おやつを楽しんだり、野菜類をプランターで栽培して、外気浴を行っています。ドライブでは、お花見、湿生花園、大文字焼などを観に出かけています。家族と一緒に外出され、食事をしたり、ガラスの森美術館へ行っている方もいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設にてお金の管理はさせて頂いていますが、ご本人の希望でコンビニ等への買物時は決済できるよう支援を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りは難しくなっていますが、届いた手紙は、その方に読んで差し上げています。その上でも電話でのやり取りには支援をさせていただいています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは常に季節を感じて頂けるよう空間を目指しています。室温などは温度計の数字だけではなく、入居者様にも声かけをし快適な温度調整も心得ています。課題としては長続きしない整理整頓にあると思っています。	リビングは、広くて明るく食事スペースと応接スペースに分かれています。周囲の壁には利用者手作りの、季節の貼り絵付カレンダーや、大きな油絵などが飾られています。床暖房も完備され、掃除は日に2回利用者と一緒に行われています。テラスからは、四季折々の箱根の自然を満喫できます。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様には思い思いの場所で過ぎて頂いています。自ら移動の難しい方には声を掛けさせて頂き、ご本人の希望が読める努力をに対応するよう努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にはすべての物を自宅から持参していただいています。ベッドは施設側で用意をさせて頂いています。居室には入居者様のお誕生日に掲示させて頂いたものを飾らせて頂き、ご本人の年齢が解るようにさせて頂いています。また居室担当者との整理等にも一緒に行なっています。	居室には、エアコン、クローゼット、電動ベッド、防災カーテンなどが完備されています。利用者が入居するまでに使っていた家具類や、テレビなど好きな位置に配置されています。掃除や衣替え、整理整頓などは、居室担当者と一緒にしています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者皆様それぞれの出来る事の発見を共有しています。自立支援とは研修でも行ないましたが、一つ間違えると虐待にもあたるため、勘違いしないよう職員には伝えてあります。入居者様が今何の支援が必要か見極める力が必要と考えます。		

目 標 達 成 計 画

事業所

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。